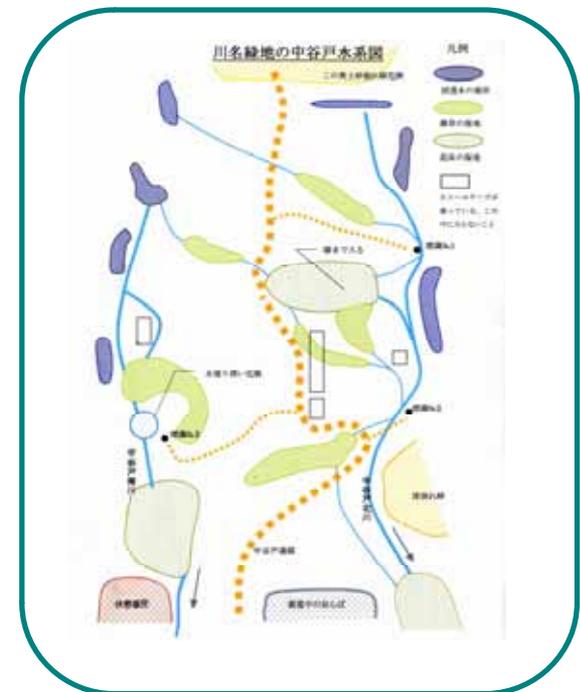


観察や測定を取り入れた環境保全活動を！

利用団体の紹介

藤沢の市民グループ グリーンスタッフ

藤沢市川名緑地の環境保全を目的として、水質(pH, 伝導率, COD[化学的酸素要求量], 全窒素, 全リンなど)や生物の種類を調査しています。



谷戸川の流れ

測定項目	水量 (m³)	流量 (cc/sec)	流速 (cm/sec)	水深 (cm)	透明度 (cm)	濁り	臭気	水位変化 (m-m)
中谷戸南川	190	17	7			なし	なし	
中谷戸北川	150	12	5				なし	
修徳中の田んぼ							なし	

注1 田んぼ周辺で発生しているカブトガタが繁殖し、褐色の藻の状態になって濁っている。
注2 好天候で昼間の水の流れは少なかった。

(4月17日水質測定)

川名緑地の水質

測定項目	水温 (℃)	水深 (cm)	pH (1-14)	溶存酸素 (mg/l)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	アンモニア態窒素 (NH4-N) (mg/l)	硝酸態窒素 (NO2) (mg/l)	硝酸態窒素 (NO3) (mg/l)	全リン (PO4) (mg/l)
中谷戸南川	17.0	19.0	8.0	379	0.4	0.00	0.00	0.0	0.0
中谷戸北川	17.0	18.8	7.4	370	0.4	0.00	0.00	0.0	0.0
修徳中の田んぼ	17.0	22.0	7.7	426	0.4	0.00	0.00	0.0	0.0

(4月17日水質測定)

採取した水生生物の種類

分類	種	マキガイ	甲殻類	魚	昆虫	計
中谷戸南川	カリニナ	ミズムシ	ヨコエビ	エビ	トンボ	11
中谷戸北川	カリニナ	ミズムシ	ヨコエビ	エビ	トンボ	9
修徳中の田んぼ	カリニナ	ミズムシ	ヨコエビ	エビ	トンボ	5
中谷戸合計	1	1	2	1	3	17

(4月17日採取)

平成17年10月20日 神奈川新聞

珍虫「ヤマトセンブリ」

神奈川県環境科学センター・野崎研究員が、川名緑地の川でヤマトセンブリを採取した。ヤマトセンブリは、全国的に分布しているが、神奈川県では初めて見つかった。ヤマトセンブリは、水生昆虫の一種で、成虫は羽が黒く、翅の脈が特徴的である。幼虫は水生で、川や池などで生活する。ヤマトセンブリは、環境指標生物として注目されている。

藤沢・川名緑地に生息

ことし4月に7個体を発見
環境科学センター・野崎研究員
「保全と調査必要」

県内では初めて見つかったヤマトセンブリ



オナシカワゲラ



オシオカラトンボ



カワナ

